

若い力

第154号

2021年11月11日

発 責 国労九州本部

住 所 博多区博多駅東3丁目9番
3号ニッコーハイツ1003号

業績改善！ボーナスは??

JR4社が2021年度の中間決算を発表

第2四半期累計期間(4~9月)			
	2020年度	2021年度	増減
JR東日本	△2643億円	△1452億円	1191億円
JR東海	△1135億円	△444億円	691億円
JR西日本	△1280億円	△686億円	594億円
JR九州	△102億円	△20億円	82億円



各社とも2年連続の赤字ですが大幅な改善が見られます。新型コロナウイルス感染症の影響は今年も継続しましたが感染者は減少傾向にあり、会社も「ワクチン接種の広がり、感染抑制と経済活動の両立が期待できる状況になりつつある。」と、明るい見通しを語っています。鉄道運輸収入についても4~9月期で前年度比122%となる398億円を計上。更に10月は1カ月で100億円を超える鉄道運輸収入となり、コロナ前の7割まで回復しています。設備投資は前年651億円から約2倍となる1240億円を計上。最新の新幹線車両、嬉野市に宿泊施設建設用の土地を購入。「潤沢な財務、人材、出店立地」を評価され、焼き肉店を事業譲受。マンション販売も好調で連結営業収益は170億円の増収です。鉄道に頼らないビジネスモデルがコロナ禍でも真価を発揮し、加えて2度に渡るボーナスの超低額回答やBPR等、社員の身を切る改革により収益構造を改善しました。業績は上向きです！

九州のみ黒字予想

	前年度業績	年度初予想	下方修正値
JR東日本	△5779億円	360億円	△1600億円
JR東海	△2015億円	900億円	△300億円
JR西日本	△2332億円	30億円	△1165億円
JR九州	△189億円	129億円	34億円



新型コロナウイルスが長期化したことにより、当初の業績予想より本州3社とも、およそ1200億円の下方修正、赤字予想とした中で、唯一JR九州は34億円の黒字を達成する見込みです。赤字になった途端、急に「ボーナスは業績連動」と言い出しましたが、その業績は目に見えて改善しています。あとは払っていただくだけです。社員はもう本当の本当に限界です。